

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう御幸		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習室・運動室を分けた構造化環境が整っており、クールダウンしやすい空間づくりや視覚支援の活用など、子どもが見通しを持って過ごせる環境設定ができています。保護者評価でも「分かりやすい」「清潔」と高評価を得ています。	毎日の申し送りやノート共有を通じ、PDCAサイクルを意識した業務改善を行っています。職員間で意見交換しながら支援の質を高めています。	職員配置や役割分担を見直し、個別対応の質をさらに高めていきます。
2	個別支援計画の作成・モニタリング・共有が丁寧に行われており、子どもの成長や課題を職員間で共有しながら支援に活かしています。計画に沿った支援提供が安定して行われている点は大きな強みです。	活動プログラムが固定化しないよう、季節行事・運動・工作など多様な活動を取り入れています。子どもの興味関心を反映した活動設計ができています。	外部評価や専門機関連携を増やし、支援の専門性を高めていきます。
3	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「楽しみにしている」「満足している」との評価が全体的に見られます。日々の情報共有や面談対応が信頼関係につながっています。	安全管理体制が充実しており、BCP・各種マニュアル整備・定期訓練・ヒヤリハット共有・虐待防止研修を継続しています。	家族支援プログラムや保護者参加型研修の情報提供を強化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数によっては学習環境が狭く感じる場面があり、環境調整が課題です。	利用児増加と施設規模のバランスが影響しています。	活動スペースの使い分けや人数調整を工夫します。
2	職員配置によって個別対応が十分に行えない場合があります。	急な欠勤時の配置調整が必要になる場合があります。	人員体制の強化や応援体制の活用を継続します。
3	第三者評価や外部スーパーバイズ機会が少ない状況です。	外部連携体制の構築が今後の課題です。	外部研修や第三者視点を取り入れ、質の向上につなげます。